

## 研修医評価表（麻酔科）

A：十分達成 B：ほぼ達成 C：やや不十分 D：全く不十分 NA：評価できない

評 価 項 目	研修医					指導医				
	A	B	C	D	NA	A	B	C	D	NA
術前診察を行い、麻酔に関連する患者の問題点を述べる。										
術前評価に基づいて麻酔計画を立案する。										
麻酔準備（麻酔器の点検、薬剤、気道確保用具）ができる。										
用手的気道確保、バッグマスク換気を施行する。										
静脈確保を施行する。										
気道管理に必要な解剖を説明できる										
気道確保の難易度を評価する。										
マッキントッシュ型喉頭鏡を用いて気管挿管を施行する。										
胃管を挿入する。										
術中の患者のバイタルサインを評価する。										
全身麻酔薬、筋弛緩薬、麻薬の基本的投与方法を説明できる。										
麻酔導入、維持、麻酔覚醒、抜管について説明できる。										
術後回診後、問題点を述べる。										
不測の事態が起きた場合、状況を指導医に報告できる。										
術中に使用される薬剤の適用、禁忌が説明できる。										
マックグラス、エアウェイスコープ等デバイスの準備ができる。										
脊髄くも膜下麻酔について適応、禁忌について説明できる。										
人工呼吸の基本的モード設定が説明できる。										
動脈血液ガス分析について評価できる。										